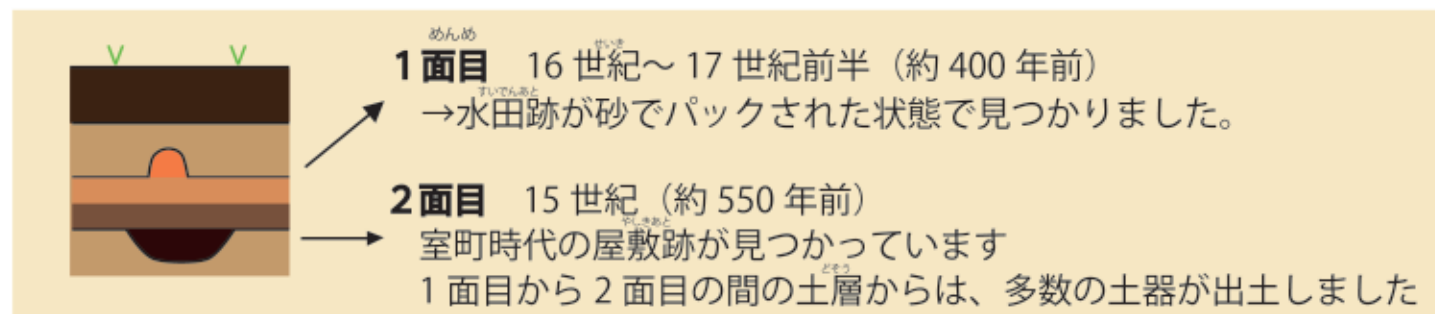


約 400 年前の大津天神堂遺跡



第 1 面の調査から



水田を仕切る畔ですが、一部で大型のものも見られました。道や、作業場所として使用されていたのかもしれませんが。

調査区中央に、一段高くなった場所が見つかりました。畑や建物があったかもしませんが、江戸時代以降に削られてしまったようです。

水田の床土には、当時の足跡が。ドロドロの水田で作業をして、そのまま土が固まったものと考えられます。

本日の説明・資料は現段階での成果に基づくであり、今後の検討によって、変更になる場合があります。

山梨県埋蔵文化財センター（山梨県庁 観光文化・スポーツ部）
<https://www.pref.yamanashi.jp/maizou-bnk/>
電話 055-266-3016（平日 8 時 30 分～17 時 15 分）



山梨県埋蔵文化財センター

おおつてんじんどう

2024 年 3 月 31 日（日）

大津天神堂遺跡 現地説明会



今回は、甲府市大津町にできるリニアの新駅周辺で見つかった、大津天神堂遺跡の紹介を行います。

令和 5 年 6 月から発掘が始まり、現在も大絶賛発掘中！

甲府盆地に眠る中世の人々の暮らしの跡を、ぜひ感じてみてください。

発掘調査って知っていますか？

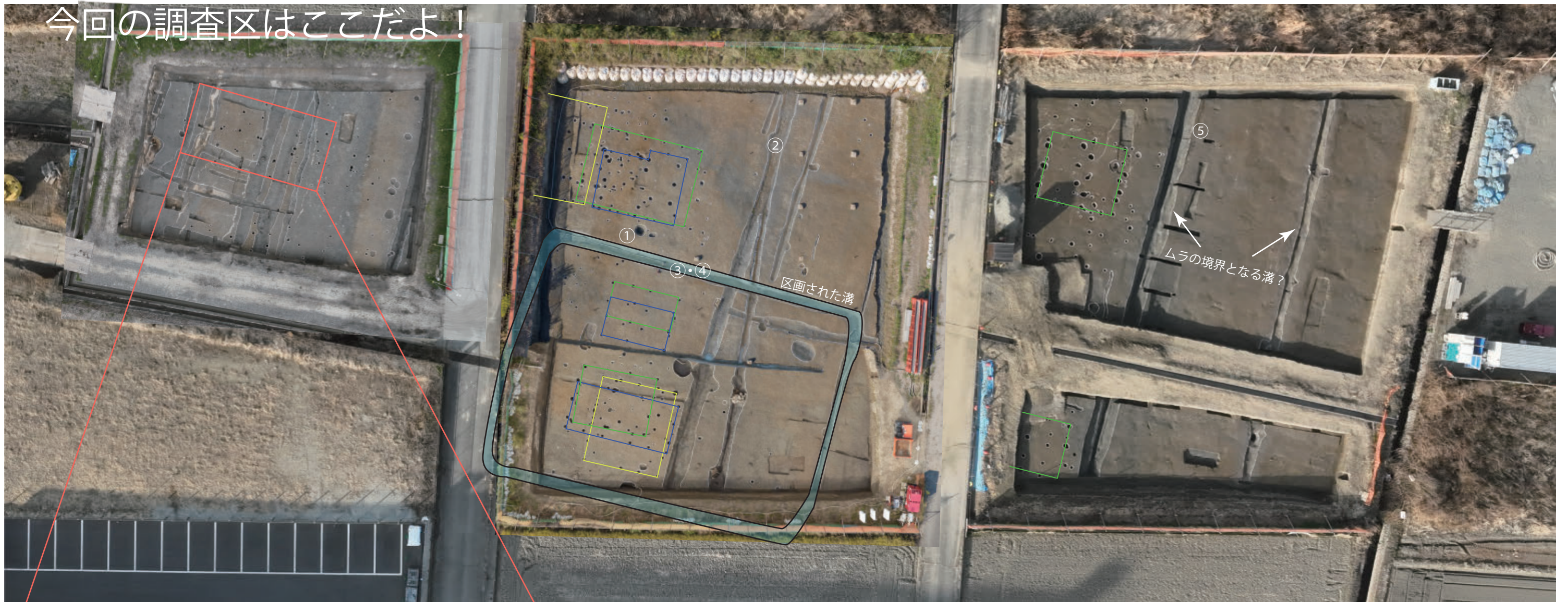
何百年もの間地中に埋まっていた遺跡でも、新しく道路や建物工事をする際に傷ついてしまうことも。

今回の調査地点ではリニア中央新幹線の新しい駅が建築予定ですので、皆さんが実際に遺跡の上に立つことができるのは、今回が最初で最後となります。

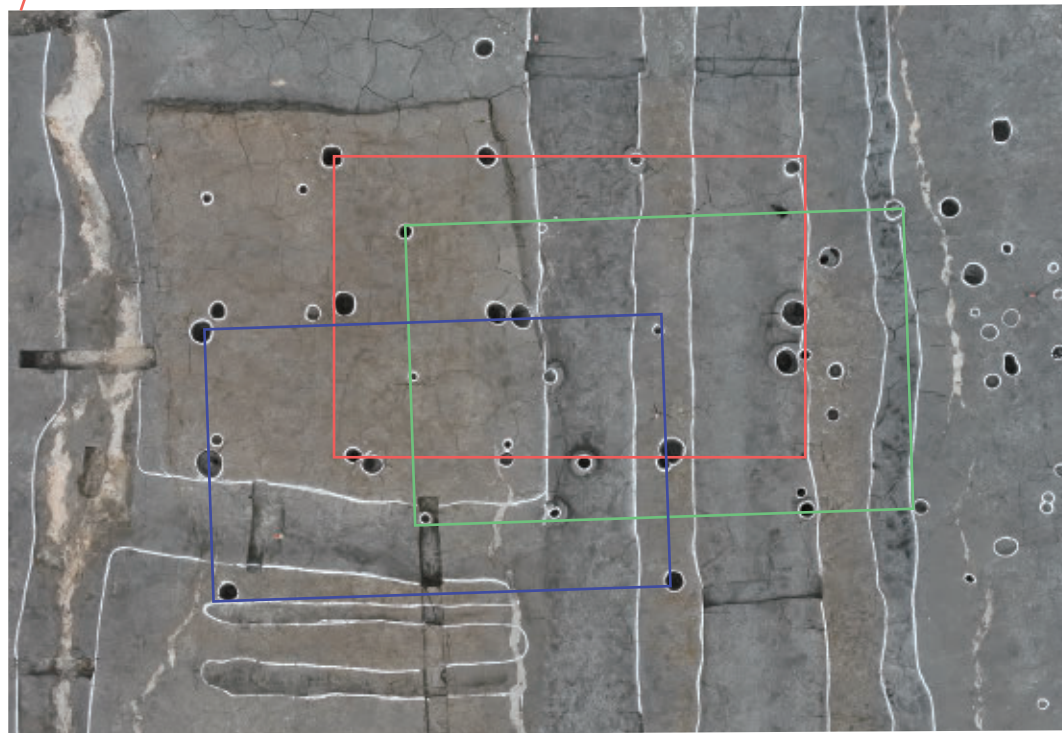
「じゃあ、どんな遺跡があったのか分からなくなってしまうの？」
と思ったそこのアナタ！

発掘調査が完了すると『発掘調査報告書』という本に成果をまとめます。この本を読むことで、大津天神堂遺跡がどのような遺跡だったのか、いつでも見直すことができます。

今回の調査区はここだよ！



拡大！！



掘立柱（ほったてばしら）の建物跡。
何回か建て替えをしたようです



① 素掘りの井戸



② 溝からはたくさんの遺物



③ 漆碗が出土



④ かわらけ（土器のお皿）



⑤ 当時の建物の柱も出土



⑤ 杭列も見つかりました